

平成24年消防団入退団式並びに操 法競技大会



操法競技大会で優勝した第2分団員の皆さん

- ◆ 優勝 第2分団
◆ 準優勝 第3分団
◆ 3位 第1分団
- 操法競技大会の結果は次の通りです。なお、7月の高森町で開催される郡大会には、第2分団と第3分団が出場します。

操法競技大会が各分団ごとに長陽庁舎駐車場で行われ、昨年の12月、全国自治宝くじの社会貢献広報事業で軽可搬消防ポンプが配備された女性消防隊も初めて参加しました。

式終了後は、消火活動に備えた基本的な一連の動作などを競い合う、

4月1日に、長陽グラウンドで、村消防団入退団式・操法競技大会が行われました。

入退団式では殉職消防職・団員への黙とうを捧げ、退団者(46人)、新幹部(42人)、新入団員(31人)に、衛藤武志団長から辞令が手渡されました。衛藤団長は、「家族の協力があつてこそ消防団活動。家族を守り、大事にしない団員は村民も守れません。そのことを忘れず団員間の絆と一体感を作りあげて南阿蘇村消防団魂を郷土に捧げていただきたい」と訓示を述べられました。

式終了後は、消火活動に備えた基本的な一連の動作などを競い合う、



受診者代表で血圧計を受け取られた磯崎日出雄さん

3月23日、白水総合センター集会ホールで、「特定健診受診率向上のための血圧計贈呈式」が行われました。

この取り組みは、本村国民健康保険が毎年実施している特定健診の受診率向上を目的に昨年度から実施。受診者のなかから抽選で100人に贈られました。

贈呈式では長野敏也村長が、「自分の健康は自分で守る気持ちがなければ健康づくりはできません。若いころからの努力が大切です」とあいさつ。受診者を代表して、磯崎日出雄さん(吉田一)に血圧計が手渡されました。

磯崎さんは「今までは歩いていただけでしたが、血圧計をいただいて数値にも気をつけ、益々健康づくりに頑張ります」と今後の抱負を話されました。

健康管理に役立てて

血圧計贈呈式

国の登録有形文化財登録証を伝達

京都大学火山研究センター



登録証・プレートを伝達された鍵山教授(右)と藤岡教育長(左)

河陽地区に位置する「京都大学理学研究科附属地球熱学研究施設火山研究センター(旧京都帝国大学阿蘇火山研究所)本館」が2月23日、国の登録有形文化財(建造物)として登録されたことに伴い4月6日、同火山研究センター教授の鍵山恒臣さんに、藤岡孝輔教育長から登録有形文化財登録証と、プレートが伝達されました。

受け取られた鍵山教授は、「歴史の重みを感じます。地元の方の期待にそえるよう、これからも教育と研究を進めていきたいと思っています」と話されました。

今回の登録で、県の登録有形文化財(建造物)は112件目。阿蘇郡市内では2件目の登録となりました。

受け取られた鍵山教授は、「歴史の重みを感じます。地元の方の期待にそえるよう、これからも教育と研究を進めていきたいと思っています」と話されました。

今回の登録で、県の登録有形文化財(建造物)は112件目。阿蘇郡市内では2件目の登録となりました。

みなさんの情報をお待ちしております

南阿蘇村役場企画観光課企画係

☎0967(67)2230

一緒に遊ぼうね

村内保育所入園式

4月5日から7日にかけて、村内5つの保育所で入園式が行われました。

5日に行われた立野保育所の入園式では、浅尾光代保育所長が、「明日から元気にブランコやブロック、お絵かきをして楽しく遊びましょう」とあいさつ。担任の先生から一人ひとり名前を呼ばれた園児たちは「はい」と元気に返事をしました。

同保育所の新入園児は4人。お兄さんお姉さんの園児たちは「明日から一緒に遊ぼうね」と、新しいお友だちに呼びかけ、「チューリップうた」を歌って聞かせました。

今春の、保育所新入園児数は次のとおりです
白水保育所22人、久木野保育所24人、長陽保育所8人、長陽西部保育所4人



立野保育所の園児たち

どきどきわくわく一年生

村内小学校入学式

4月10日、村内5つの小学校で入学式が行われ、新入生89人は、たくさんの希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。両併小学校の入学式では、4人の新入生が、在校生や保護者たちが見守るなか、照れながら元気に入場。

式では坂梨正文校長が、「人の話をしっかり聞く子、あいさつを自分から進んでできる子、自分のことは自分でする子になってください」と3つの約束事を伝え、「頑張ろうね」と、新入生一人ひとりと握手をして励ましの言葉を贈りました。

式の終わりには、全校児童が「僕たちと仲良く元気に頑張ろう」と言葉を贈り、手拍子に合わせた合唱で新入生を迎えました。



全校児童の歌で迎えられる新入生

今春、村内の入学児数は次のとおりです。

- 白水小 19人
- 中松小 10人
- 久木野小 22人
- 南阿蘇西小 34人

期待に胸を膨らませ

村内中学校入学式

4月10日、村内3中学校で入学式が行われました。久木野中学校の入学式では、19人の新入生が、真新しい制服に身を包み、颯爽と入場。

式では、坂梨光一校長が「中学校生活は、自分の生き方を決めていく大切な時期。小学校で抱いた夢や目標に少しでも近づくように持てる力を発揮してほしい」と、あいさつされました。

新入生誓いの言葉では、川口優さんが、「私たちはこの久木野中の生徒として、何事も勇気を持って挑戦し、一人ひとりが目標に向かって努力することを誓います」と、新入生を代表して力強く決意の言葉を述べました。



凛々しい姿の新入生たち

今春、村内中学校に入学した生徒数は次のとおりです。

- 白水 32人
- 長陽 37人

悔しさバネに全国2位

桑野こゆきさん（久木野中）

全国2位を獲得した桑野こゆきさん
（久木野中2年）



6日の練習に励んでいます。
大会を終えて桑野さんは「今までの全国大会では悔しい結果で終わっていたので、優勝する気持ちで試合に挑みました。次は全国制覇を目指します」と、今後の試合にける思いを話してくれました。

3月25日から27日にかけて、山梨県甲府市小瀬スポーツ公園武道館で開催された「第34回全国スポーツ少年団剣道交流大会」中学個人女子の部で、久木野中学校の桑野こゆきさん（当時1年生）が県代表で出場し、全国2位に輝きました。桑野さんは、小学2年生から剣道を始め、現在は「久木野剣友会」に所属。週

南阿蘇村の桜で日本を元気に

47都道府県の桜が有楽町に展示

3月22日から25日にかけて、東京都の「ルミネ有楽町店」で開催された「桜を見上げよう。」sakura projectで、長陽駅（喜多区）周辺の桜が展示されました。

このイベントは、「桜で日本を一つに」をテーマに、東日本の復興支援の一環として開催されたもの。植物卸問屋「株花字」の5代目であり、ひとの心に植物を植える「そら植物園」の活動をスタートした清順さん（西島清順）の指揮のもと、47都道府県の桜を8メートルの「一本の桜」に仕立て、イベント期間に合わせて満開の桜が展示されました。

清順さんは、昨年、博多阪急で開催された新幹線開業イベントでも同桜を展示。それをきっかけに、今回のイベントに合わせて2月9日に来村されました。

「この桜は芽が大きいので立派な花を咲かせるはず。ひじょうに珍しい品種」と期待を込めて話されました。熊本県を代表して展示された本村の桜は、日本全国の桜とひとつになり、来場者に感動を与えました。



桜を求め来村された清順さんご夫妻（上・左）と地域の方。イベント会場で満開の花を咲かせた全国の桜

桜のなかを快走

アスベクタ 日本一のさくら桜クロスカンントリー大会

4月7日、長野県出身の長野貞春さんが寄贈された河津桜などを観光に役立てようと、県野外劇場アスベクタで「第1回南阿蘇村日本一さくら桜クロスカンントリー大会」が開催され、県内外から参加した307人が見ごろを迎えた桜の中を駆け抜けました。（村・村体育協会主催）

開会式では、小堀孝二体育協会会長が、「雄大なロケーションを楽しみながら心地よい汗を流してください。この大会が、1万5千本の桜とともに大きく成長していきますようご支援ください」とあいさつ。選手宣誓では、愛知県から参加された水谷敦さんが、「東北で復興に向けて歯を食いしばり頑張っている人たちに負けないよう、仲間とともに走り抜きます」と力強く宣誓されました。

コースは、2km（小学男女・ファミリー）、3.2km（中学男女・高校、一般女子）、6.7km（高



勢いよくスタートを切った選手たち（2kmコース）

校、一般男女の3コース。選手たちは息を切らせながらも笑顔でゴールを目指していました。

お互いの健康を確かめあつて

村身体障害者福祉協会

3月30日、久木野総合福祉センターやすらぎ広場で、村身体障害者福祉協会久木野支部と、80歳以上の地区高齢者によるグランドゴルフ交流会が開催されました。

この交流会は、高齢者世帯が増えるなかで、高齢者と障がい者がお互いの健康の維持と、生きがいづくりを目的に同協会が開催。

協会会長の光永直保さんは、「お互いの情報を共有して、今後の生活が少しでも楽しくなれば」と話されました。

この日は、約30人が参加し、青空のもとプレーを楽しみました。交流会は、グランドゴルフのほか、食事会やベタンクも行われています。



声を掛けあいながらプレーを楽しむ参加者たち

交通事故ゼロを目指して

春の全国交通安全運動

4月10日、「春の全国交通安全運動」の取り組みの一環として「交通事故死ゼロを目指す日」の街頭キャンペーンが、赤瀬区の「武蔵うどん」前駐車場で行われました。

この取り組みは、高森警察署管内における阿蘇南部地区交通安全協会が合同で行うキャンペーンで、この日は約50人の安全協会員、警察署員などが参加。本村からは交通指導員と交通安全母の会の会員が参加し、ドライバーに「安全運転米（もち）どありがとう」と書かれた米やチラシなどを配布し、安全運転を呼びかけました。



ドライバーに安全運転を呼びかける交通指導員と交通安全母の会の皆さん

ありがとうございました

教育委員退任に感謝状

3月25日で村教育委員を退任された上村順一さん（下野）に、長野敏也村長から感謝状が贈呈されました。

上村さんは23年4ヶ月と、長年にわたり教育委員及び教育委員長を務められ、本村の教育の振興発展に尽力されました。

南阿蘇西小学校開校式で感謝状を贈呈された上村さんは、「皆さんは、南阿蘇西小の第一期生で、基礎をつくる大事な出発のとき。仲良く、勉強を頑張つて、故郷を大切にしてください」と、あいさつされました。また、上村さんは将来を担う村の子どもたちのために役立ててほしいと、村に寄付金を贈られました。

3月26日からは、新たな教育委員に藤本誠司さん（下野）が就任されました。藤本さんは「教育委員会では5年間、学校教育指導員として皆と力をあわせてきました。子どもたちの未来と、地域住民の願いが反映できるよう頑張ります」と抱負を述べられました。



感謝状を贈呈される上村順一さん



教育委員に任命された藤本誠司さん